

ワシントン州：小麦作柄と気象状況 2010年10月31日現在

概況 ワシントン州東部の10月31日に終る1週間の気象は、概ね平年並みか多少平年を上回る気温の湿潤気象となった。EC地区の最高気温は55～59度F、最低気温は28～33度Fで平均気温は平年並みか平年を1度F上回った。SE地区の最高気温は62～64度F、最低気温は35～44度Fであり、平均気温は平年を2～4度F上回った。1週間の降水量はEC地区で0.30～0.46インチ、SE地区で0.32～0.95インチであった。9月1日からの積算降水量はEC地区では平年比193～201%、SE地区では平年比で128～209%であった。1週間の州平均農作業稼働日数は4.5日(前週:5.5日)であった。Topsoilの土壌水分は、前週より“Surplus”が減少し、“Adequate”が増加した。土壌水分は5年平均より良い状態であった。農家は降雨の合間に播種を進め2011年産冬小麦の播種は、全州の99%の圃場にて完了した。播種圃場の93%にて出芽した。出芽のペースは土壌水分が良いことから昨年並びに5年平均より早い。NE地区の小麦も降雨により順調に出芽していた。EC地区の小麦も土壌水分に恵まれ、順調な生育をしていた。Walla Wall 郡では強風の日が続き、Topsoilの水分が飛び圃場が乾燥したが、週末の降雨で土壌水分を快復し、小麦は順調に出芽した。Whitman 郡は多雨を経験し、一部の農家は播種作業が出来なかった。気温が温暖であったことより、出芽は順調との報告であった。冬小麦の作柄は前週より“Good”が多少減り、“Fair”と“Excellent”がその分増えた。昨年同期の作柄より良好であった。

土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	4	5	77	14
	Last week	4	5	68	23
	5-Yr Ave.	8	19	60	13
Subsoil	This week	3	27	69	1
	Last week	4	26	68	2
	5-Yr Ave.	16	36	46	2
Irrigation	This week	0	2	96	2
	Last week	0	1	96	3
	5-Yr Ave.	2	7	90	1

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Planted	99	97	99	98
Emerged	93	88	82	79

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	10	76	14
Last week	0	0	9	80	11
Last year	3	6	36	53	2

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2006,2007,2008,2009 and 2010 Crop year.

以上

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。 1